

36 当院における透析時の睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の測定

医療法人慈修会上田腎臓クリニック・透析室 武舎孝之・竹ノ内俊之

小菅崇・山田あゆみ・一之瀬貴志・唐澤由香里・塚田修・村上真基

【目的】

近年社会問題になっている睡眠時無呼吸症候群 (SAS) は、健常者の3~5%に認められている一方、透析患者におけるSASの頻度は確定してはいないが20%前後の高頻度と報告されており高血圧、虚血性心疾患、脳血管障害などを合併し突然死にも関与している。当院では日中に傾眠があり透析中ほとんど入眠している患者のポリグラフ測定を行い、全身への影響とともに検討した

【対象と方法】

当院の血液透析患者115名より、年齢・透析歴をマッチさせて入眠群と覚醒群を選択。

- 平均年齢 男 : 女
- 入眠群 : 64.6歳 9 11
- 覚醒群 : 63.4歳 17 13
- 入眠群 : 透析中ほとんど入眠 (SAS疑いあり) 「30例」
- 覚醒群 : 透析中覚醒 (SAS) 疑いなし 「30例」

●測定・検討項目

透析中ポリグラフを測定 (呼吸圧・酸素飽和度) BMI (Kaup 指数)・血圧・X線心胸比・血液検査 (BUN・Cr・Hb)・心電図所見・催眠薬・抗不安薬服用の有無等を比較検討した。

(ポリグラフ測定・SAS診断)

簡易型ポリグラフ測定器 (フクダ電子製パルスリープ LS 100) を使用。

透析開始時より終了までの約4時間を測定した。透析中は1時間毎にバイタルチェックを施行した。ポリグラフ測定中は患者に声をかけることなく出来るだけ安静を維持した。

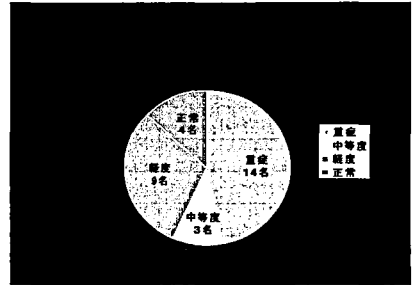
●SAS判定基準 (当院での4時間透析中での基準)

重症 : 無呼吸低呼吸指数 AHI \geq 30回 (1時間)

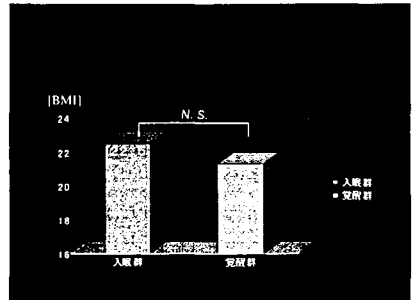
中等度 : $15 \leq$ AHI < 30 (1時間)

軽度 : $5 \leq$ AHI < 15 (1時間)

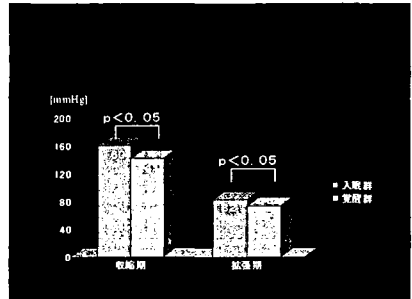
【結果】



結果

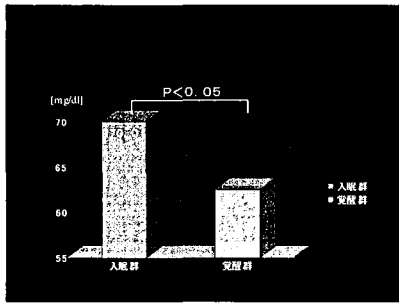


BMI による比較

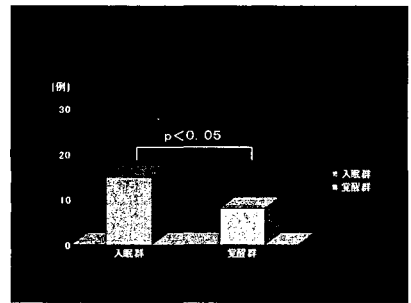


血圧の比較

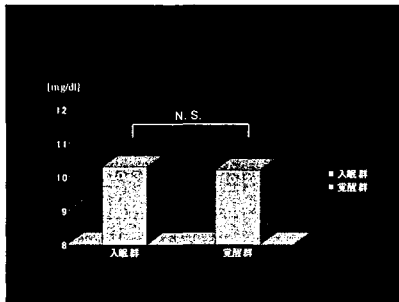
竹ノ内俊之 医療法人慈修会上田腎臓クリニック
〒386-0002 上田市大字住吉322
0268-27-2737



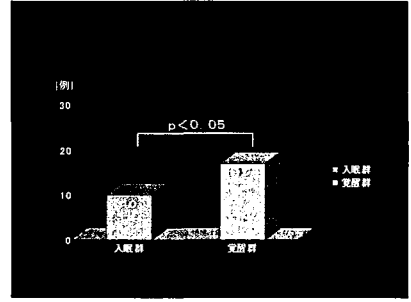
BUN



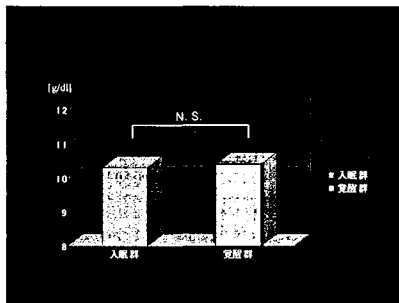
虚血性変化



Cr



催眠薬・抗不安薬の服用



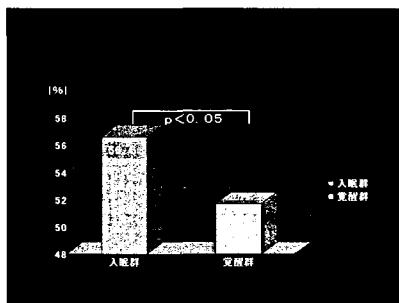
Hb

【まとめ】

今回、入眠群患者の87%にSASの診断がついた。また心電図上では虚血性変化が有意に多く循環器系への負担が大きいと考えられた。入眠群の血圧や心胸比は有意に高値を示した。血液検査では、クレアチニン・ヘモグロビン値に高値を示したことから何らかの因果関係があると予測された。

【結論】

今回のポリグラフ測定は呼吸圧・酸素飽和度を知る簡易的な検査であり、透析中いびきをかいて入眠しSASを疑われる患者で、帰宅後1人では側定困難な症例でも透析中のポリグラフ測定は有用であると考えられた。今回の測定では入眠群患者の87%にSASの診断がついたことから透析中のポリグラフ測定を積極的に、特に重症のSと診断がついた患者には十分なInformed consentや極的な治療(持続的陽圧呼吸法)を検討すべきと考えられた。



CTR